



## 陸前高田の巨大ベルトコンベアによる大規模な嵩上げ工事





【大正2年】  
今泉地区および高田地区の山際に沿って市街地が形成されている



【昭和44年】  
現JR大船渡線の開通以降、高田地区の市街地は大きく発展

## 陸前高田 市街地の変遷

当初、集落は山際に形成されていたが、大船渡線の敷設に従って集落は低地に降りてきた。

【陸前高田復興まちづくり情報館展示資料より】

被災直前の市街地。JR線以南に市街地が拡大。国道45号高田バイパスには商業施設が進出 →





↑気仙沼市役所の一部

# 気仙沼

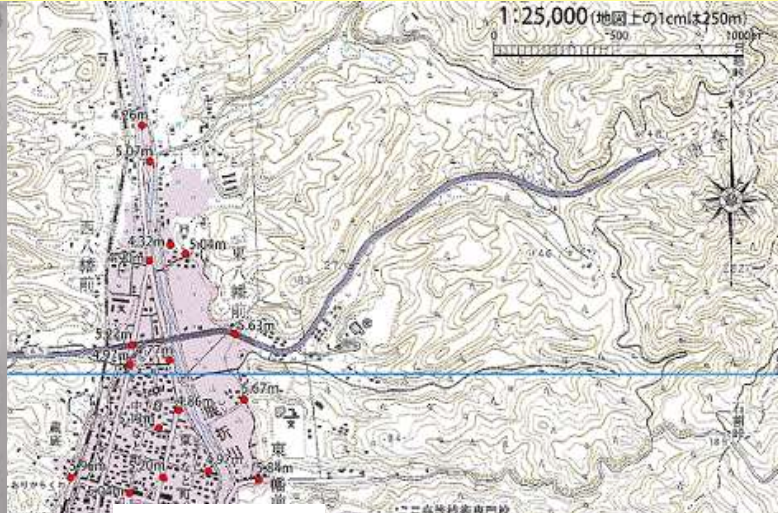
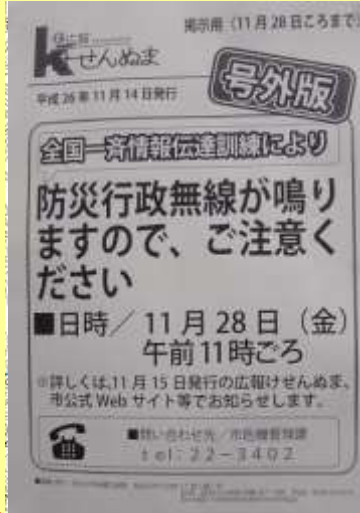
気仙沼市教育委員会  
(旧河北新報社)→



津波は1階の天井近くまで



1階の教育復興支援センター気仙沼事務所



鹿折地区



内湾地区



南気仙沼地区







港町ブルース

一 背のびしてゐる港浜を  
今日も汽笛が遠きから  
あなたにあげた 夜をかえして  
港 港画館 通り西

二 流す波で割る酒は  
だました男の味がする  
あなたの影を ひきずりながら  
港 富吉 釜石 気仙沼

三 出船入船 別れ儂  
あなた乗せない舟り船  
うしろ姿も 他人のそら似  
港 三崎 津津に 御前崎

四 別れりや三月 持ちわびる  
女心のやるせなき  
明日はいらいがい 今夜が欲しい  
港 高知 高松 八幡浜

五 呼んでとどかぬ人の名を  
こぼれた酒と指で書く  
港に架の ああ恋病はかり  
港 別府 長崎 枕崎

六 女心の残り火は  
燃えて身をやく松島  
ここは鹿角島 旅路の架てか  
港 港町ブルースよ

歌 森 進 一

作詞 深津 武志  
作曲 ながにし 礼  
作詞 猪俣 公章

さかなま  
魚町のつな  
もどかす!

2012.3.10



気仙沼市内湾地区

